

平成28年度「土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール」作文小学生の部 最優秀賞
(群馬県知事賞)

「土砂災害について」

嬭恋村立西部小学校 6年 黒岩 佳永

私は、土砂災害を実際に体験したことはありませんが、社会の授業で学習した、宮崎県日之影町の土砂災害が起こる前の写真と、土砂災害が起こったあとの写真では、土砂災害が起こったところだけ、茶色く、地面がむき出しになっていて、家のがれき、木の枝がちらばっていて、石などもバラバラにちらばっていて、土砂災害が、起こる前と土砂災害が起こったあとの景色では、とても大きなちがいがありました。こういった、いつ、どこでなるかわからない、土砂災害の被害を少しでも少なくするために、日ごろからの防災意識を高める必要があると思います。

例えば、土砂災害には前ぶれがあるので、その前ぶれにいち早く気がつくことが大切です。土砂災害の前ぶれは、6つあります。「地面にひびわれができる。」「斜面から水がわき出す。」「山鳴りがする。」「がけから小石がばらばらと落ちてくる。」「がけにわれ目がみえる。」「急に川の流れがにごり、流木が流されている。」の6つのことです。急に強い雨が降り出したりしたら、6つのことに目を向け、どれかに当てはまったら、早めにひなんすれば、少しだけ、被害が少なくなるかもしれません。

ほかに、近所の人や地域の人みんなと協力しあってひなんすれば、かいちゅう電灯などの防災グッズも貸し合ったりできるし、土砂災害の前ぶれに、一人でも気づけば、周りの人にも伝えて、土砂災害が起こりそうなところから、いち早くにげられ、ひなんできるからです。一人一人が早めに気がついたり、日ごろから、近所、地域の人達と親しくなれば、いざというときに、おたがい助け合えるので、日ごろから注意したり、近所の人達と親しくしたりと、日ごろからの行いも、防災意識を高めるためのことになると思います。

私の家の近くには、がけがあります。なので、たくさん雨が降ってきたりしたら、前ぶれのことを意識したいです。

土砂災害についてこれからしていきたいことは2つあります。1つ目は、「防災グッズを準備しておくこと」です。私の家は、「大丈夫」と言って、防災グッズは、ほとんどありません。なので、いつ起こるか分からない、もしものことも考えて、今度、「防災グッズの準備をした方がいいよ」と言って、防災グッズを準備しておきたいです。

2つ目は、「土砂災害についてもっとくわしく知ること」です。自然災害の多い日本という国で生きているので、いつ起こるか分からない土砂災害についての備え、被害などを知って、もし起こったときはどうすればいいかなどを、考えて、知りたいです。

いつ起こるか分からない土砂災害、備えれば被害も少なくなるので、自分でできることを、今できることを考えて、これからの未来につなげて行きたいです。また、これからの日本の未来のためにも、一人一人が、もしものことに備えることを努力すれば、被害は大きくても、けがをする人などは減ると思います。自然には逆らえません。けれども、ひなんすることはできます。なので、早めのひなんを心がけることが、大切だと思います。これからの日本のためにも、防災意識を高めることは、とても大切だと思います。